

ブラックロック・イノベーター株式・ヘッジファンド
(為替ヘッジなし)

追加型投信／海外／株式／特殊型(ロング・ショート型)

繰上償還 交付運用報告書

第3期(償還日2024年3月29日決算)

作成対象期間(2024年1月26日～2024年3月29日)

償還日(2024年3月29日)	
償還価額	12,483円05銭
純資産総額	13百万円
騰落率	6.0%
分配金	0円

(注) 騰落率は収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「ブラックロック・イノベーター株式・ヘッジファンド(為替ヘッジなし)」は、約款の規定に基づき、2024年3月29日をもって繰上償還いたしました。

当ファンドは、主として英国を中心とした世界の企業の株式等を投資対象として、ロング(買い建て)・ショート(売り建て)ポジションを構築することにより、市場動向に左右されることなく中長期的なプラスの投資収益の達成を目標に運用を行います。当期につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過と償還内容をご報告いたしますとともに、これまでのご愛顧に対し厚く御礼申し上げます。

●当ファンドは、投資信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。右記弊社ホームページの「各種資料-資料一覧」を選択し、「キーワード検索」で当ファンド名を入力し、ドキュメント種別で「運用報告書」を選択することにより「運用報告書(全体版)」を閲覧およびダウンロードすることができます。

●「運用報告書(全体版)」は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

ブラックロック・ジャパン株式会社

〒100-8217 東京都千代田区丸の内一丁目8番3号

丸の内トラストタワー本館

運用報告書に関するお問い合わせ先

電話番号: 03-6703-4300

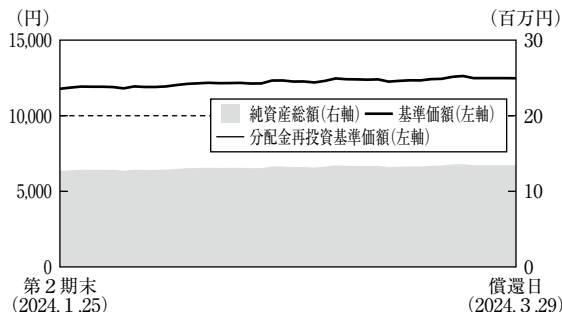
(受付時間 営業日の9:00~17:00)

ホームページアドレス

www.blackrock.com/jp/

◇運用経過

■当期中の基準価額等の推移について(第3期:2024年1月26日~2024年3月29日)



第3期首: 11,782円
 第3期末: 12,483円05銭(既払分配金0円)
 騰落率: 6.0%(分配金再投資ベース)

■基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額の期中騰落率は+6.0%となりました。当期、B S F ブラックロック・エマージング・カンパニーズ・アブソリュート・リターン・ファンド(円建て)が上昇したことが当ファンドの主なプラス要因となりました。

- * 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- * 分配金再投資基準価額は、前期末の基準価額に合わせて指数化しています。

■1万口当りの費用明細

項目	第3期 (2024.1.26~2024.3.29)		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 19	% 0.157	信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 期中の平均基準価額は12,226円です。
(投信会社)	(1)	(0.010)	投信会社分は、委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(18)	(0.144)	販売会社分は、交付運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(0)	(0.003)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	-	-	売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 / 期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	-	-	有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 / 期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 (印刷費用・監査費用等)	2 (2)	0.020 (0.019)	その他費用 = 期中のその他費用 / 期中の平均受益権口数 目論見書および運用報告書の作成・印刷費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用等の諸費用
(その他)	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	22	0.177	

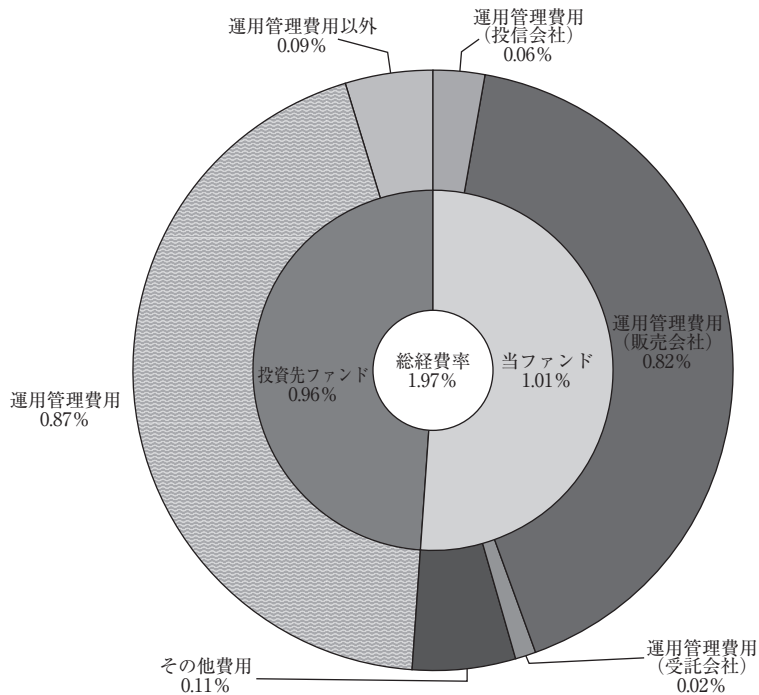
(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当りのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

■総経費率



※当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.97%です。

総経費率(①+②+③)	1.97%
①当ファンドの費用の比率	1.01%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.87%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.09%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

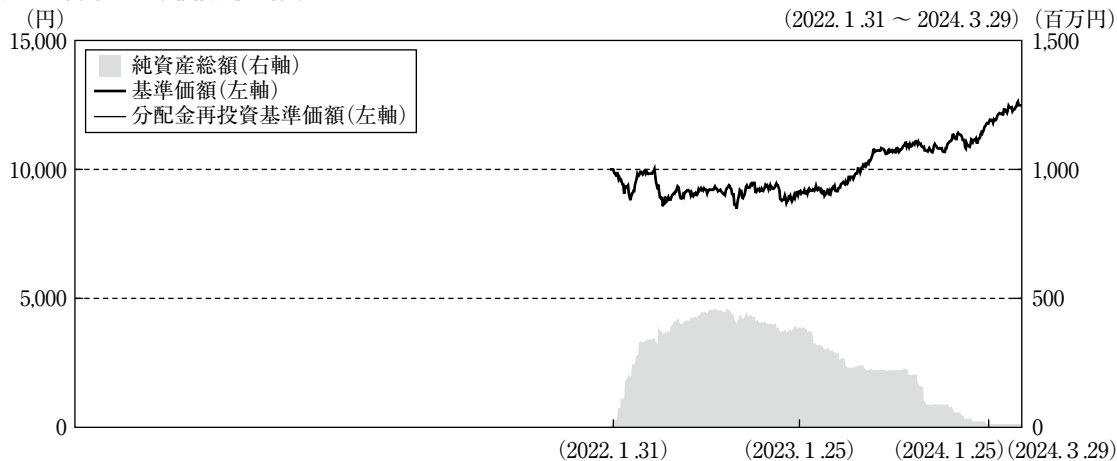
(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券です。

(注5) ①の費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■最近5年間の基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、2022年1月31日(設定日)の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

	2022年1月31日 期初(設定日)	2023年1月25日 決算日	2024年1月25日 決算日	2024年3月29日 償還日
基準価額(分配落) (円)	10,000	9,118	11,782	12,483.05
分配金(税込み) (円)	-	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率(%)	-	△ 8.8	29.2	6.0
純資産総額 (百万円)	10	386	12	13

* 設定日の基準価額は設定時の価額、純資産総額は設定元本を表示しております。

* 当ファンドは、特定のベンチマークに連動する運用、あるいはそれを上回る運用を目指すものではありません。したがって当ファンドはベンチマークおよび参考指数を設定していません。

投資環境について

当期、世界の株式市場は上昇しました。FRB(米連邦準備制度理事会)による早期利下げ期待の後退や、業績に注目が集まる相場展開となりました。企業決算は概ね堅調であった一方で、米国で1月のインフレ指標が市場予想を上回り、金利は上昇基調となりました。3月のFOMC(米連邦公開市場委員会)では2024年の利下げ回数の中央値は据え置かれた一方で、スイス中銀は他の主要中央銀行に先行して25bpsの利下げに踏み切りました。

ポートフォリオについて

<当ファンド>

期を通じて、主要投資対象ファンドである「BSF ブラックロック・エマージング・カンパニーズ・アブソリュート・リターン・ファンド(円建て)」を高位に、副次的投資対象ファンドである「ICS ブラックロック・ICS・USトレジャリー・ファンド」を低位に組み入れた運用を行いました。なお、当ファンドは2024年3月29日をもって信託を終了(繰上償還)することとなったため、繰上償還に向け投資対象ファンドの売却を行い、当期末時点で資金化を完了しました。

<BSF ブラックロック・エマージング・カンパニーズ・アブソリュート・リターン・ファンド>

(運用経過、投資行動)

ロング・ポジションがプラス寄与、ショート・ポジションがマイナス寄与となりました。

金利やインフレの動向に注意を払いながら、ネット・エクスポージャーを引き上げました。主に、テクノロジーでのショート・ポジションを引き上げた一方で、資本財企業のロング・ポジションと、指数先物のショートを引き上げました。

(主なプラス要因)

- ・テクノロジー、資本財、一般消費財セクターの企業のロング・ポジション。
- ・TSMC、META、CRHなどのロング・ポジション。

(主なマイナス要因)

- ・指数先物、資本財、一般消費財の企業のショート・ポジション。

<ICS ブラックロック・ICS・USトレジャリー・ファンド>

主に、米国短中期国債、米国政府によって発行されるその他債務権および現先取引に投資することで、流動性と元本の安定性を確保しつつ、安定的なインカム水準を追求した運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

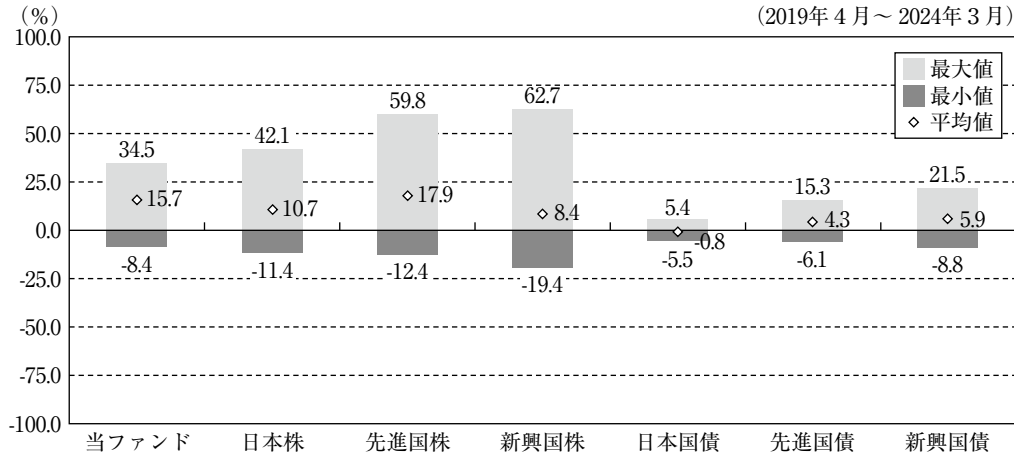
当ファンドは、特定のベンチマークに連動する運用、あるいはそれを上回る運用を目指すものではありません。したがって当ファンドはベンチマークおよび参考指数を設定していません。

◇当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式／特殊型(ロング・ショート型)
信託期間	2022年1月31日から2024年3月29日まで
運用方針	市場動向に左右されない投資収益の達成を目標として運用を行います。
主要投資対象	「ブラックロック・ストラテジック・ファンズ ブラックロック・エマージング・カンパニーズ・アブソリュート・リターン・ファンド クラスI投資証券(円建て)」及び「インスティテューショナル・キャッシュ・シリーズ p l c ブラックロック・ICS・USTレジャリー・ファンド エージェンシークラス投資証券」に投資します。
運用方法	<p>①主として、英国を中心とした世界の企業の株式等のうち、企業が持つ本来の収益力や業界の構造変革に着目し、成長サイクルの初期段階にある企業や著しい成長が期待される企業の株式等へ投資を行い、ロング(買い建て)・ショート(売り建て)ポジションを構築することにより、市場動向に左右されない投資収益を追求する投資信託証券を主要投資対象(以下、「主要投資対象ファンド」といいます。)とします。副次的な投資対象として、短期債券等に投資する投資信託証券にも投資を行います。</p> <p>②投資対象ファンドは、別に定めるブラックロック・グループの運用会社が運用する投資信託証券とします。投資対象ファンドは、委託者の判断により、変更することがあります。</p> <p>③各投資信託証券への投資割合は、原則として市況動向および各投資信託証券の収益性等を勘案して委託者が決定します。通常、主要投資対象ファンドへの投資割合を高位に保ちます。</p> <p>④実質的な外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>⑤資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては、上記のような運用ができない場合もあります。</p>
分配方針	<p>年1回の毎決算時(原則として1月25日。休業日の場合は翌営業日)に、原則として以下の方針に基づき、分配を行います。</p> <p>■経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益および売買損益(繰越欠損補填後、評価損益を含みます。)等の全額を分配対象額の範囲として分配を行います。</p> <p>■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。</p> <p>■留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。</p> <p>※基準価額水準、市況動向等によっては分配を行わないこともあります。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p>

(参考情報)

◇代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

*上記は、2019年4月～2024年3月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

*上記の騰落率は直近月末から60ヵ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

*当ファンドについては設定日以降のデータが5年分に満たないため、実在するデータのみの記載となっています。したがって、代表的な資産クラスとの比較対象期間が異なります。

*当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

*各資産クラスの指数

日本株・・・東証株価指数(TOPIX)(配当込み)

先進国株・・・MSCIコクサイ指数(配当込み、円ベース)

新興国株・・・MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)

日本国債・・・NOMURA-BPI国債

先進国債・・・FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

新興国債・・・J.P.モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)

<各指数について>

東証株価指数(TOPIX)(配当込み)は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有する我が国を代表する指数です。東証株価指数(TOPIX)(配当込み)の指数値および東証株価指数(TOPIX)(配当込み)に係る商標又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」という。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など東証株価指数(TOPIX)(配当込み)に関するすべての権利・ノウハウおよび東証株価指数(TOPIX)(配当込み)に係る商標又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、東証株価指数(TOPIX)(配当込み)の指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。MSCIコクサイ指数(配当込み、円ベース)およびMSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)は、MSCI Inc.が開発、計算した株価指数です。MSCIコクサイ指数(配当込み、円ベース)は日本を除く世界の主要先進国の株式を、また、MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)は新興国の株式を対象として算出した指数です。同指数に関する著作権、知的財産その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。

NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表している指数で、日本国債の市場全体の動向を表す投資収益指数です。同指数に関する知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、NOMURA-BPI国債の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、NOMURA-BPI国債を用いて行われるブラックロック・ジャパン株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

J.P.モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)は、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが発表しており、新興国の現地通貨建ての国債を対象として算出した指数です。同指数に関する著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属しています。

◇ファンドデータ

■当ファンドの組入資産の内容

償還時における有価証券等の保有はありません。

■純資産等

項目	償還時
	2024年3月29日
純資産総額	13,453,014円
受益権総口数	10,777,027口
1万口当り償還価額	12,483円05銭

* 当期中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は0円です。